

## 「救急章」取得の考査に関する特別措置による実技課題（課題その2）

履修日          年    月    日

団	隊	(○で囲む) 中学・高校          年	男 女
名前		身長  cm	体重  kg

- ☆ 次の実技履修課題は、隊指導者の指導の下に、隊集会時などを活用し、地区・団の技能章（救急章）考査員の指導を受け、課題の認定を受けてください。
- ☆ なお、考査員は、日本赤十字救急法指導員の他に、医師、看護師、救急救命士など、救急法に関して、知見を有する方々も可といたします。
- ☆ 考査を受ける際には、スカウトライブラリー「野外活動における応急手当 救急法」をよく読んでおくこと。

実技履修課目	考査日	(有資格) 認定者氏名(署名)	備考
<b>4 止血法</b> 以下の止血法の説明ができ、出血の状態に適した止血法が実演できる (1) 直接圧迫止血 ※ (2) 止血帯止血法	/		※京都連盟では止血帯止血法は講習しない
<b>10 骨折、捻挫</b> 次の部位の骨折、捻挫、打撲に対し身近な道具を用い、創意と工夫で正しい応急手当ができる (1) 鎖骨 (2) 上腕 (3) 前腕 (4) 大腿骨 (5) 下腿 (6) 人さし指 (7) 手首・足首の捻挫 (8) 四肢の打撲	/		
<b>13 搬送法</b> 傷病者を搬送する方法を一人法で3通り、二人法で2通り三人法で1通りが実演できる。また、急造担架を作り、担架で運ぶ時の注意を説明し、その担架で実際に運ぶことができる	/		